

奥羽大学報



<卒業式・答辞>



125

目次

平成21年度卒業証書・学位記授与式	2
博士(歯学)学位記授与	4
記念植樹／謝恩会／大学院教員研修会の開催	5
大学基準協会による大学評価(認証評価)結果について 平成21年度大学院歯学研究科特別セミナー	
第83回日本細菌学会総会ワークショップへの参加	6
禁煙推進全学集会／平成22年度オープンキャンパス日程	7
平成22年度進学相談会日程／高大連携プログラム進学セミナー ..	8
父兄会	9
附属病院	10
清水学長ご退任／退職によせて	11
神奈川県支部同窓会だより／同窓生のひろば	12
人 事	13
平成22年度教務日程(歯・薬)	別刷
平成22年度授業時間割(歯・薬)	別刷

平成21年度卒業証書・学位記授与式

平成22年3月10日(水)午後1時より、本学記念講堂において平成21年度卒業証書・学位記授与式が挙行された。卒業証書および学位(歯学・薬学)を授与された者は、歯学部歯学科82名、薬学部薬学科82名、また、博士(歯学)の学位を授与された者は、大学院修了者3名及び博士論文提出者2名であった。

式典は多数の来賓のご臨席とご父兄及び教職員参列のもと厳粛に進行され、理事会を代表して中井富雄理事の祝辞と清水秋雄学長告示があり、引き続き卒業生一同の代表として歯学部歯学科 助川絵美さんから答辞が述べられた。

さらに、成績優秀者賞授与が行われた後、卒業生、大学院修了者及び博士論文提出者の一人ひとりが壇上で卒業証書並びに学位記を授与され、閉式となった。

式場を後にした卒業生は多数の在學生に迎えられ祝福を受けていた。

なお、各賞の受賞者は次のとおりである。

◆晴川賞 歯学部歯学科 助川 絵美



◆優等賞 歯学部歯学科 鈴木 隆史
熊野 毅



告 辞

学長 清水 秋 雄

奥羽大学平成21年度卒業証書ならびに学位記授与式を執り行うに当たり、ご来賓の学校法人晴川学舎役員各位、また関係者多数のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。極めてタイトで長い学業期間、研鑽に努め、さらに厳しい教育評価を受け、晴れて社会への巣立ちに、大いなる敬意を表しますとともに、ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

皆さんはキャンパスライフを通じ、多くの学友との交流、諸活動への参加など、楽しく充実した貴重な体験をしてきましたが、間もなく学園とは人的構成異なる大人社会での活動になります。

現在、国際社会は地球規模の環境異変による影響下で、グローバル化が進み、一国に何か事象が起こるとその影響がリアルタイムで他国に及ぶような社会情勢、さらにわが国においては、いびつな人口構造に基づく諸問題が、近未来の政治経済、教育、医療福祉のあらゆる分野に、また世相にまでも大きく影響を及ぼすことが予想されます。とりわけ、われわれの専門領域である保健医療の体制は、政治経済レベルの影響を強く受ける傾向にあり、時には健康の地域格差が生じています。本来、保健医療は、国民に普遍的に実施しなければならないのですが、それに歪みをきたしています。

医療現場でも予想だにしていなかった事例が起こっています。皆さんがすでに学習しているこ

とですが、かつて医療は主に担当者の判断で行われてきましたが、昨今では患者さんをクライアントとして捉えた考え方が導入され、その自己決定権が容認された結果、患者さんと医療人との立場が微妙に変わりました。それがためか、または患者さんやその関係者の自己主張が強くなったためか、彼らの医療担当者への横暴な振舞が、ままた見られるようになりました。身近な事例でも種々変貌しています。

現今のように、国の仕組みが発展複雑化した社会では遠因であっても、身近な生活や医療に影響が及ぶことがあります。そのような時に、皆さんの創意工夫によって新しい発想の、評価の高い方策を見出すこともできるでしょう。

これから比較的、他律的な学生生活から自律的判断が求められ、かつ厳しい人間関係の存在する社会生活に移行しますが、それに適応するためには、生涯を通じ、日進月歩の医療サイエンスに心し、高品質の人間力の向上に努めて欲しいものです。

どうか、皆さんの専門である健康に留意し、本学の建学の理念である「人間性豊かな有為な医療人の育成」の下で培った、力量を遺憾なく発揮し、社会に貢献されるよう祈念し、告辞といたします。



祝 辞

理事 中井 富雄

卒業証書並びに学位記を手になさる皆さんと、御臨席なされましたご父母各位に心よりお祝いを申し上げます。本日はまことにおめでとうございませう。

皆さんにとりまして今日までの長い間には、多くのことを経験なされたことと思います。

限られた時間では到底語り尽くせぬ程の数多の経験は「思い出」という一括りの言葉にとどまることなく、必ずや皆さんの人生に豊かな実りをもたらす良質な肥料となってくれることを信じております。

とりわけ最後の学生生活である本学で皆さんが「物事の本質を捉える大切さ」を学んで行ってくれば、私共にとってこれ以上の喜びはありません。

何事も一朝一夕に出来ることばかりではありませんが、困難が全てでもありません。今、自分の前になすべきことがあればできぬ心配をするよりは、できたときの喜びを心に描いてやってみることで。

失敗は成功の母、何度でも立ち直る努力を厭わなければ挫けることは恥にはなりません。

今日の仕事を明日に延ばさず、今日の仕事としてやり遂げることで。

一日一日実行し、繰り返し積み重ね続けていく先に、新たな可能性が生まれ目標は達成されます。

これから後、皆さんが常に良識と善意を備え、社会から望まれる立派な歯科医師又は立派な薬剤師となって、地域医療に貢献なされ世界平和に寄与してくれることを希っております。

結びに、本日御臨席なされました皆々様の御健勝を祈念して祝辞といたします。



答 辞

卒業生代表 助川 絵美

春の強い風が街をかけ抜け、開成山の美しい桜の季節がまた巡ってこようとしています。

本日は、私達のために、このような盛大な卒業式を催して頂き、卒業生一同感激を新たにしております。ここに僭越ではございますが卒業生を代表致しまして一言御礼申し上げます。

学長先生をはじめ、多くの諸先生方、並びに関係各位の皆様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

私達は今日をもちまして、長かった学生生活に終止符を打つこととなりました。思い返すと、桜の舞う春、私達は期待と不安を胸に本学に入学いたしました。以来、医療という新しい分野を学ぶ喜びを感じながらも、日々進歩を続けるこの学問を学んでいく過程で多くの困難に直面することもありました。しかし、目標を共にする友人達や、時に厳しく時に優しく私達を導いて下さる先生方のおかげで大学生活を乗り越えることが出来ました。また、私達をいつも温かく見守り続けてくれた家族にも心から感謝しています。多くの方々のお力添えのおかげで私達は無事卒業を迎えることができました。

私達はこれからそれぞれの道へと進みますが、奥羽大学で学び培った多くの知識や経験を、今度は社会に対して十分に還元できるよう、より一層の研鑽を重ね、今まで支えて下さった多くの皆様や未来のために、不断の努力を惜しむことなくその発展に貢献していきたいと思っております。

また初心を忘れることなく確かな技術や知識はもちろん、人を思いやり、慈しむことのできる謙虚な歯科医師、薬剤師を目指し、尚一層の努力を重ねる所存であります。

芽吹き始めた新緑が凛と背を伸ばして光を集めるように、私達も胸を張って果敢に己の道を信じ、日々精進して参ります。

本日までご指導くださいました諸先生方や大学関係者の皆様に、心より御礼申し上げますと共に今後も変わらぬご指導、ご鞭撻賜りますよう、お願い致します。

最後となりましたが、諸先生方や御来賓の皆様のご今後のより一層のご健勝と奥羽大学のますますのご発展を心より祈念いたしまして答辞とさせていただきます。

 博士(歯学)学位記授与

博士課程修了による学位記授与者

今田 玲美 (顎顔面口腔矯正学)
「コンピュータシミュレーションによる理想とする側貌の解析」

長崎 慶太 (歯内・歯周療法学)
「*Porphyromonas gingivalis*またはToll-like receptor2リガンドが惹起するマウスマクロファージ様細胞J774.1のIL-6産生に対するalendronateの増強作用とetidronateの抑制作用」

和田 隆史 (保存修復学)
「低出力超音波パルスがラット脛骨の骨欠損部治癒過程に及ぼす影響について」

論文審査による学位記授与者

奥山 典子 (口腔病態解析制御学)
「ヒト口腔扁平上皮癌細胞HSC-3におけるHsp47の発現」

中山 公人 (歯科補綴学)
「コバルトクロム合金金属床のバレル研磨に関する研究
—クラaspの変形と抑制法について—」

 記念植樹

3月8日(月)午後1時より「躍進の像」前で平成21年度卒業生による記念植樹が行われた。

歯学部代表の小島杏里さん、薬学部代表の齋藤雄介さんから、充実した学生生活が過ごせた感謝の言葉と、この樹木と共に成長していきたいと今後の決意が込められた挨拶があった。学長より謝辞として、「このような行事が続けられることは大変うれしく思います。厳しい社会環境ではありますが、健康に留意して成長していくことを希望します」とのお言葉をいただいた。最後に参加した卒業生代

表、教職員全員の手によって植樹されたケヤキに土入れが行われた。

(渡辺 克己)



 謝 恩 会

3月10日(水)、歯学部がホテルハマツ、薬学部が郡山ビューホテルアネックスにてそれぞれ卒業準備委員会主催の謝恩会が開催された。会には多数の関係者が出席し、感謝の言葉や学生生活の思い出が語られていた。



歯学部



薬学部

 大学院 教員研修会の開催

歯学部

大学院教員を対象とした研修講演会が12月4日(金)に附属病院棟5階臨床講義室で開催された。講師は本学歯学部生体構造学講座の深井直実教授で、「米国歯科大学・大学院における教育と研究」と題した講演が行われた。

当日は大学院教員だけでなく多数の歯学部教員も聴講した。本学赴任前に在職されていたハーバード大学における教育と研究の実情や留学生・研究員の受け入れ体制などについてもお話しがあった。日米の歯学系大学院の教育システムの相違点や米国の歯学研究の最近の動向などについての質問もあり、有意義な研修会となった。

(鈴木 康生)



大学基準協会による大学評価(認証評価)結果について

本学は、学校教育法において定められる認証評価を受けるため、第三者評価機関である財団法人大学基準協会に平成21年1月13日付文書にて大学評価申請を行い、書面評価と実地視察等に基づいた評価の結果、大学基準に適合していると認定を受けた。適合認定の期間は平成29年3月までである。

この度、国の認証評価機関である大学基準協会の適合認定を受けたことは、本学の教育、研究及び運営が適正であると社会的に判定された証である。

今後、本学の建学の精神・理念に基づく使命及び目的を達成するため、なお一層の改善努力を継続していく所存である。



平成21年度大学院歯学研究科特別セミナー

本年度の大学院セミナーは、下記のように計4回開催された。いずれの回も多数の大学院生が、熱心に聴講していた。大学院教員と薬学部も含めた学部教員が出席して活発な質疑応答が交わされることも多く、大学院生の研究心を強く刺激する貴重な機会となっている。

(清浦 有祐)

講師名	所属・職名	演題	実施日
三浦 廣行	岩手医科大学教授	筋機能と歯科矯正学との関わり	7月10日
西村 英紀	広島大学教授	歯周病と糖尿病の関係	10月27日
五十嵐順正	東京医科歯科大学教授	短縮菌列への対処法について	11月6日
井上 正康	大阪市立大学教授	活性酸素と生命のスーパーシステム	2月16日

第83回日本細菌学会総会ワークショップへの参加

歯学部口腔病態解析制御学講座 玉井利代子

3月27日に日本細菌学会のワークショップ「真菌・放線菌の分子解析と宿主応答のアップデート」が横浜市のパシフィコ横浜で開催された。真菌による感染症の研究は、高齢化社会の進展、HIV感染の広がりや臓器移植などの医療技術の進歩に伴ってその重要性が増している。今回のワークショップでは、真菌感染症に関する最新の研究動向が我々を含む7つの研究グループから報告された。内容は真菌の病原性を分子レベルで詳細に解明したものから、新たな感染動物モデルの開発まで多岐にわたっていた。我々は、病原性真菌であるカンジダに対する宿主の免疫応答のメカニズムを、白血球が産生する生理活性物質の動態を検討することで明らかにした。講演後はいくつかの質問や提言もあり、今後の研究の方向性を考える上でも大変有意義なワークショップであった。

前日には第10回日韓国際微生物学シンポジウムも同じ会場で開催され、発表を行った。このシンポジウムは、2年ごとに日本と韓国で交互に開催されている。韓国側からも多くの微生物学研究者が参加していた。感染症は、地球上の各地域によって流行する疾病が大きく異なることが多い。このシンポジウムでも、東アジア地域に多いリケッチア感染症に関して日韓の研究者から最新の研究成果の発表があり、活発な意見交換が行われた。



—パシフィコ横浜にて— 玉井利代子助教

禁煙推進全学集会

平成21年12月18日に記念講演にて奥羽大学禁煙推進全学集会が行われ、全学生教職員を含めた、941名の参加があった。本集会では、清水学長より次の通り禁煙宣言がなされ、現在でも全学を挙げての取り組みが行われている。

奥羽大学は、医療系大学として喫煙対策及び禁煙支援を推進することが医療人の責務であると認識し、ここに禁煙推進宣言を行う。

1. 本学敷地内全面禁煙を行う。
2. 本学学生及び教職員の禁煙を推進する。
3. 喫煙の健康に及ぼす悪影響について、正しい知識の普及啓発を行う。
4. 禁煙希望者に対する禁煙の助言と支援を行う。
5. 附属病院は禁煙推進活動に積極的に参加し、行動する。
6. 本学学生に対して喫煙と健康及び禁煙支援についての教育を行う。



禁煙推進宣言を行う清水学長

平成22年度オープンキャンパス日程

今年度のオープンキャンパスは6回開催します。

教職員による模擬体験、模擬授業、実習体験などを行います。高校生にとって本学の雰囲気を感じて体験ができます。また、個別進学相談会も同時に行います。

同窓会の皆様も是非友人、知人お誘いのうえ、気軽にご参加ください。

(渡部 一)

日付	学部	項目	テーマ
6月5日(土)	歯学部	模擬体験	コンピューターで歯医者さんを体験しよう。 歯医者さんの道具を体験しよう。
	薬学部	施設見学 実習体験	模擬薬局施設見学 「実験でチェック！水の安全・安心」
7月24日(土)	歯学部	模擬体験	コンピューターで歯医者さんを体験しよう。 歯医者さんの道具を体験しよう。 虫歯の成り立ちと予防法を知ろう。
	薬学部	施設見学 実習体験	模擬薬局施設見学 ～製剤体験～ 自分で薬をつくってみよう！
8月21日(土)	歯学部	模擬体験	コンピューターで歯医者さんを体験しよう。 歯医者さんの道具を体験しよう。 目で見ると臭い。
	薬学部	施設見学 実習体験	模擬薬局施設見学 病院薬剤師の仕事、「治療的薬物血中濃度モニタリング」を知っていますか？ ～奥羽大学は医師と共に薬物療法を支える薬剤師を実践的に育成しています～
9月4日(土)	歯学部	模擬体験	コンピューターで歯医者さんを体験しよう。 歯医者さんの道具を体験しよう。
	薬学部	実習体験 施設見学 実習体験	細菌学者になって、う蝕と歯周病をおこす細菌の性質を調べてみよう。 模擬薬局施設見学 「血圧ってなあ～に？～血圧のしくみを知って、実際に測定してみよう！～」
10月10日(日)	歯学部	模擬体験 模擬授業	歯並びを治してみよう。 「どうして、いびきをかくの？」
	薬学部	施設見学 実習体験	模擬薬局施設見学 「スポーツ、栄養ドリンクの添加物・保存料って何！？どんなものが、どれだけ入っているのだろう？！」
11月27日(土)	歯学部	実習体験	部分入れ歯の金具を作ってみよう。
	薬学部	施設見学 実習体験	模擬薬局施設見学 「微生物の世界を観てみよう」

平成22年度 進学相談会日程

今年度も奥羽大学の進学相談会が始まりました。高校生はもちろん、保護者の方、奥羽大学卒業生の皆様の来場もお待ちしております。

日付	曜日	地域	会場	時間
4月14日	水	福島	コラッセふくしま	15:30～19:00
4月15日	木	いわき	いわき産業創造館LATOV	15:30～19:00
4月16日	金	郡山	郡山商工会議所大ホール	15:30～19:00
4月16日	金	郡山	郡山ビッグアイ	15:30～18:30
4月20日	火	会津若松	会津若松ワシントンホテル	15:30～19:00
4月27日	火	仙台	仙台市情報・産業プラザAER	15:30～18:30
4月28日	水	郡山	郡山ビューホテルアネックス	16:00～19:00
5月14日	金	仙台	仙台市情報・産業プラザAER	16:00～19:00
5月23日	日	新潟	朱鷺メッセ	11:00～16:00
5月24日	月	秋田	アルヴェ	15:00～18:00
5月25日	火	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡本館	15:00～18:00
5月27日	木	福島	コラッセふくしま	15:30～18:30
6月1日	火	松本	ホテルブエナビスタ	15:00～18:30
6月1日	火	水戸	水戸プラザホテル	14:00～18:00
6月2日	水	長野	ビッグハット	15:00～18:30
6月8日	火	仙台	ホテルメトロポリタン仙台	15:00～18:00
6月8日	火	宇都宮	マロニエプラザ	14:30～18:30
6月9日	水	宇都宮	マロニエプラザ	14:30～18:30
6月9日	水	福島	サンパレス福島	15:00～18:00
6月10日	木	大宮	大宮ソニックシティ	15:30～18:30
6月10日	木	郡山	ホテルハマツ	15:00～18:00
6月11日	金	会津若松	会津若松ワシントンホテル	15:00～18:00
6月14日	月	いわき	いわきワシントンホテル	15:00～18:00
6月15日	火	長岡	ホテルニューオータニ長岡	15:00～18:00
6月17日	木	山形	山形国際ホテル	15:00～18:00

高大連携プログラム 進学セミナー

3月23日(火)に福島県高等教育協議会主催の「進学セミナー」が本学で開催された。今回の企画は県内の高等教育機関の教職員が一同に集まる初めてのイベントで奥羽大学がその会場となった。「進学セミナー」には高校生やその保護者などおよそ100名が参加した。17名の講師による講演が開催されるなか、本学からは歯学部の高田訓教授、薬学部の押尾茂教授が講演を行った。高校生に向けた講演が非常に好評で次回以降も参加したいとの声が多数寄せられていた。



父 兄 会

歯学部・薬学部父兄会の幹事会、総会は3月10日(水)に開催され、平成22年度の役員ならびに事業計画・予算について承認された。

主な内容については下記のとおり。

歯学部

「平成22年度役員」

歯学部父兄会

会 長 田口 昭博
副会長 神山 功
監査役 中島 義真

「主な行事予定」

定時総会 平成22年 4月 4日(日)
平成22年 5月22日(土)
平成23年 3月10日(木)
保護者懇談会 平成22年 5月22日(土)
平成22年10月 2日(土)
地域会(全体会・個別懇談会・懇親会)

22年6月19日(土)	東京	東京グリーンパレス
22年6月26日(土)	大阪	大阪ガーデンパレス
22年7月 3日(土)	福岡	福岡ガーデンパレス

「予 算」

(収入の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	1,980,000
入 会 金	960,000
会 費	14,250,000
地域会参加費	1,000,000
雑 収 入	5,000
合 計	18,195,000

(支出の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
通 信 費	300,000
印 刷 費	70,000
会 議 費	1,400,000
消 耗 品 費	10,000
旅 費 交 通 費	2,000,000
慶 弔 費	150,000
雑 費	10,000
地域会開催費	3,920,000
課外活動援助費	4,910,000
学生福利厚生費	2,150,000
奥羽大学歯学会協賛費	100,000
学 習 活 動 助 成 費	2,000,000
予 備 費	1,175,000
合 計	18,195,000

薬学部

「平成22年度役員」

薬学部父兄会

会 長 小林 啓一
副会長 安藤 尚廣
監査役 歌川 光子

「主な行事予定」

定時総会 平成22年 4月 4日(日)
平成22年 5月21日(金)
平成23年 3月10日(木)
保護者懇談会 平成22年 5月21日(金)
平成22年10月 9日(土)

「予 算」

(収入の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	24,156,434
入 会 金	1,100,000
会 費	10,540,000
雑 収 入	20,000
合 計	35,816,434

(支出の部) 単位:円

項 目	本年度予算額
通 信 費	200,000
印 刷 費	200,000
会 議 費	1,000,000
消 耗 品 費	100,000
旅 費 交 通 費	550,000
雑 費	150,000
課外活動援助費	2,300,000
学生福利厚生費	7,150,000
予 備 費	24,166,434
合 計	35,816,434

 附属病院

第6回医療安全管理研修会

2月25日(木)に本年度第6回目にあたる医療安全管理研修会を開催した。内容は、1) 当院が受けた大学間医療安全相互チェックの結果と、東北大学に医療安全チェックのために出向した結果を医療安全推進委員会副委員長の鈴木史彦講師から、2) 長崎大学病院に医療安全チェックのために出向した結果を医療安全推進委員会委員長の山崎信也教授から、3) 処方箋の記載についての注意事項について同委員の遠藤初恵薬局長から、4) 院内感染予防対策について同委員の泉田玉磨美歯科衛生士から、それぞれ講演がなされた。

(山崎 信也)



平成21年度歯科医師臨床研修修了式

3月29日(月)に臨床系教授と病院職員の列席の下、平成21年度の臨床研修修了式が挙行された。清野和夫病院長より修了証書が37名の研修歯科医師、一人ひとりへ呼名と共に手渡された。続いて、天野義和歯学部長より歯科医師の生涯研修と二年目以降の臨床のあり方について訓話があり終了となった。修了した研修歯科医師は、歯科医籍登録の準備を終え、それぞれ将来への抱負を胸に飛び立った。

(高橋 和裕)



 退職によせて

ご退職された先生方には奥羽大学の教育に大変ご尽力をいただいたことをここに改めて感謝申し上げます。

清水学長におかれましては、昭和47年4月、東北歯科大学(現・奥羽大学)口腔衛生学の専任教授として着任されて以来、学長を務められる今日まで奥羽大学の教育全般の発展にご尽力してくださいました。清水先生は、本学報の委員長も務められ、気さくなジョークで委員会を和ませていただいた事や学報への的確なご指導は学報委員共々忘れられない思い出となっております。

畑先生、高橋先生におかれましても、奥羽大学の教育目的である「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」ことに大変ご理解をいただきました。清水学長をはじめ、諸先生方のお人柄を思う時、懐かしく感じる同窓生の皆様も多くいらっしゃるかと推察いたします。

退職された先生方へ心より感謝申し上げ、今後のご多幸とご健勝をお祈りいたします。

清水学長ご退任のあいさつ



学長
清水 秋雄

対外的教育案件が多かった1期3年を2期、法人・教職員各位のご支援、協力のお陰にて無事勤めさせていただきました。深く感謝申し上げます。

平成15年8月、かねてより構想にあった薬学部を設置を表明し、翌年11月文部科学大臣より設置の認可を受けました。開学後、平成18年度発足の6年制移行に伴う申請も早々と認可を得ました。これによりわが大学は医療系大学としての基盤整備ができ、歯学・薬学部との連携による教育・研究の相乗効果が期待されました。

しかし、残念なことに文学部は平成19年3月をもって廃止となりましたが、当時最終学年の4年生は熱意ある教職員によって全員十分な実力を備え有終の美を飾ることができました。今では、その成果が社会で発揮されていることと信じています。

一方、法制化された大学評価を、平成16年以降2回評価を受け、ともに大学基準協会から基準に適合していると認められました。その間、歯学部および薬学部では共用試験の準備が進められ、試験の実施に至りました。全学挙げての、しかも初めての準備、試験に多くの時間や労力を要し、大変なご苦労をかけました。国の大学の教育政策には意外と変更があり、昨今では教育重視のみならず研究も重視する方向に変わったりしていますが、この共用試験は今後も続きますから経験と創意工夫で効率的に実施する必要があります。

世紀の変わり目前後に各方面から21世紀未来予測が提示されました。当時、すでに予想されていたことですが、少子化の影響で学生の獲得が厳しくなっています。また、予測のなかでは医療資格系大学には当てはまらない面もありましたが、教育の質、教員の質・流動性、職員の役割拡大、学費変動、広報の重要性等幅広い指摘がありました。しかし、教育事情がいかに変貌し、厳しくなろうともその対応の本筋は熱意ある教職員がこぞって教育成果を挙げることです。

35年余お世話になった愛着ある奥羽大学がますます発展し、皆様が健康でご活躍されることを祈念し、退任の挨拶といたします。



歯学部
畑 孝一

この3月で退職することになった。教授としては5年だったが、それ以前の非常勤講師からだ、若干断続的だが35年を越える。その間大学も学生も変わった、牧歌的ともいえるものから、シャープでリジッドなものへ。それに仲々対応できず、ご迷惑をかけたかも知れない。またその間様々な思い出があるが、なんといっても春の桜の美しさはすばらしい。また学生とはいろいろ話し合ったことも忘れられない。今後大学がますます発展することを願って止まない。



薬学部
高橋 朋子

薬学部新設時に生化学分野教授として着任し6度目の春を迎えましたが、「年々歳々花相似たり歳々年々人同じからず」で、私も3月末に本学を去ります。昨年は四年制課程学生が初めて卒業し、4月には六年制課程学生がCBT・OSCEを経て5年生になります。思えば新旧両課程の構築を1年の時差で進めながらの慌しい薬学教育・研究期間でした。ある卒業生が後輩に、学問の修得は「教師の良し悪しではなく、自分のやる気だ」と助言したと聞き、この究極の開眼へ幾ばくかのお手伝いできたことは教師冥利に尽きません。奥羽大学の皆様様に深謝致します。

神奈川県支部同窓会だより

神奈川県には神奈川県歯科大学、鶴見大学歯学部と2つの歯科大学があり、歯科医師総数は約7000名で、全国でも東京都、大阪府に次ぐ歯科医師数の多い都道府県となっています。

また、県内には同窓生が現在70名いますが、約50名ほどが歯科医師会の会員になっています。神奈川県歯科医師会総会員数が約4,000名ですので、たった1.25%をしめるだけの少数派です。しかしながら日本歯科医師会委員1名や神奈川県歯科医師会の各委員会委員10名、地域歯科医師会会長1名、国保連合会審査員1名、支払基金審査員2名と多くの同窓会員が大活躍しています。

神奈川県の保険請求審査は全国でも特異で(なにやらモデル地区らしいが)、高点個別指導というものがある。レセプト1件当たりの平均点が高い医療機関(最低1600点位からは、まず200人規模の集団指導があり、翌年平均点数が下がっていないと更に個別指導があるのである。このような事からみても、同窓生の審査員が複数いることによって、国保と社保の違いに主眼を置いた社保講習会を行い、日々の診療に直接結びつく情報を会員へ伝達することができ、保険知識も向上したと思います。

当支部の主な活動は、学術講演会、総会、忘年会など概ね年間3回程度の活動を行っています。夏には横浜港で行われた花火大会では、ボートをチャーターして会員・家族・スタッフ参加で盛り上がったこともあります。

本年、秋には久々に一泊の会員懇親旅行を計画中です。酒でも酌み交わしながら時間を気にせず語り合い、また親交を深める事によって、同窓会の発展ができればいいのではないかと考えています。

(溪 裕司)

同窓生のひろば



浅沼 登夫

(歯学部 13期生)

在学中は諸先生方はじめ、皆様方には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

この度は、「同窓生のひろば」への執筆のご依頼を頂き、私事で恐縮ではありますが、私の大学を卒業してからの生活ぶり、近況報告などをお話したいと思います。

私は昭和40年生まれで、今年で45歳。地元は長野県須坂市。大学在学中は、硬式野球部に所属しておりました。大学卒業後は4年間程、勤務医として働き、地元長野に戻り開業してから15年が経ちました。開業してからの10年間は本当に仕事一筋で脇目も振らず働き自分でもよく頑張ってきたと思います。しかし10年を過ぎたあたりから、それまで猪突猛進で自分本位に走りすぎてきたせい、急に体調を崩し、思うように仕事ができなくなる時期がありました。ですが、そのおかげで今までしてきた事、人との接し方など自分と向き合い考える時間を持てるようになりました。その頃から、飲みに出かけたりと、はめを外す機会も増えてきました。はめを外しすぎるのも良くないが、どのくらいのバランスが良いのか。人それぞれだとは思いますが、仕事と遊びを車の両輪に例えて、車を安全に走らせるとしたら、トランクの中に、感謝の気持ち、素直さ、謙虚さ、人への優しさ、などを沢山積んでいけたなら、そうそう事故などに遭うことはないのではと思います。

自分は今まで何かにつけて不平不満を口にする事が多かった様に思います。でも、本当は、一日が何事もなく終えられる、その事に感謝してこななければいけなかったと思います。

おかげさまで、時折はめを外させて頂きながらも、日々診療に従事でき、ありがたく思っております。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



竹内 拓也

(文学部 英語英文学科2期生)

同窓生の皆さま、ご無沙汰しております。私は平成6年に卒業した文学部英語英文学科の2期生です。卒業してから16年目の春を迎えました。旧文学棟(現薬学部棟)、学食メモリー(現グッディーズ)、広いキャンパスで学んだ4年間で、今でも昨日の様に思い浮かびます。たわいのない会話で盛り上がった、当時の学生生活にとっても懐かしさを感じます。当時、勉強したことよりも、先生方、友人たちとの出会いや別れ、夜遅くまで色々なことについて話した日々などがあったからこそ、今の自分があるものと考えます。

私は卒業後、郡山市に本店がある大東銀行に入行して16年目を迎えました。入行当時、同期のほとんどが経済学部卒業で、銀行業務の習得には同期より時間を要しましたが、奥羽大学卒業生として、自分の後に続く後輩のためにも負けれない日々が続きました。銀行業務は、色々な業種のお客さまと出会い、そしてお客さまから色々なことを教わり、また自分からも情報等を提供する、多忙な毎日であります。しかし、お客さまからの「ありがとう！」の感謝のお言葉をいただくことが大変うれしく、その言葉が自分を前進させる強い言葉であり、現在の自分に至りました。

私は現在、奥羽大学の北側に位置する、八山田地域を中心とする八山田支店の支店長(6月2日オープン、現在開設準備委員長)を命ぜられ、日々お客さまの開拓、訪問の毎日を過ごしております。大学の近くで働くことも何かの縁であり、自分の基本が近くにあることの幸せを感じながら毎日活動しております。

文学部は廃止になりましたが、奥羽大学文学部卒業生として、一社会人として今後も努力を怠らず「一生勉強」の精神で頑張ります。同窓生の皆さんも、それぞれの道で多忙の日々を過ごしていると思いますが、いつかどこかで会える日を楽しみにしております。お互いに頑張りましょう！

人事

<任用>			
岩間 正典	教授	薬学部	3月3日付
<採用>			
伊藤 喜章	図書部長	図書館事務部	3月1日付
原田 清子	労務職員	総務部	3月1日付
<退職>			
北野 明奈	歯科衛生士	看護部	2月28日付
畑 孝一	教授	社会学部	3月31日付
高橋 朋子	教授	薬学部	3月31日付
林 茂寛	准教授	薬学部	3月31日付
岩木 和夫	准教授	薬学部	3月31日付
佐藤 博泰	講師	薬学部	3月31日付
高橋 成周	講師	薬学部	3月31日付
大塚 一郎	助教	生体材料学	3月31日付
茂呂 尚紀	助教	歯科補綴学	3月31日付
田谷 かほる	助教	口腔形態解剖学	3月31日付
川根 徹也	助教	口腔機能分子生物学	3月31日付
鈴木 孝司	助教	歯学部	3月31日付
大河内 瑠夏	助手	歯科保存学	3月31日付
高橋 一人	助手	歯科保存学	3月31日付
森下 浩江	講師	臨床床	3月31日付
高録 伸郎	講師	臨床床	3月31日付
遠山 伊都子	講師	臨床床	3月31日付
阿部 剛一	講師	臨床床	3月31日付
篠島 美香	助手	臨床床	3月31日付
成井 和貴	助手	臨床床	3月31日付
東田 大輔	助手	臨床床	3月31日付
鈴木 秀太	助手	臨床床	3月31日付
土橋 信介	助手	臨床床	3月31日付
加藤 史仁	助手	臨床床	3月31日付
常盤 賢市	助手	臨床床	3月31日付
佐藤 潤	助手	臨床床	3月31日付
山城 邦明	助手	臨床床	3月31日付
春日 彰恵	主任	総務部	3月31日付
安田 陸	歯科技工士	病院事務部	3月31日付
伊崎 由香	看護士	看護部	3月31日付
磯貝 利勝	労務職員	総務部	3月31日付
磯貝 順子	労務職員	総務部	3月31日付
<定年>			
伊藤 喜章	図書館部長	図書館事務部	2月21日付
岩間 正典	教授	薬学部	3月2日付

<委員会からのお知らせ>

現在、奥羽大学学報委員会では文学部の同窓生のひろばの記事を募集しております。内容は皆様の近況等を中心に600字程度の文章で下記の住所、もしくはEメールアドレスまでお送り下さい。その際にお手数ではありますがご本人の写真、学科並びに卒業期を添えて頂ければ幸いです。皆様からの寄稿を心よりお待ちしております。

連絡先/奥羽大学 総務部 広報担当
gakuhou@jim.ohu-u.ac.jp

奥羽大学報125号 (通算No.250) 平成22年3月31日発行	
発行	奥羽大学 学報編集委員会 委員長 清水秋雄
☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1	
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372	
ホームページアドレス http://www.ohu-u.ac.jp	
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp	

オープンキャンパス 2010

第1回
6
5
(土)

10:00 ~
13:00 開催



★受付 9:30 ~ (第3 講義棟ロビー)

★準備の都合上、事前に E-mail, Tel, Fax 等でお申込み願います。



オープンキャンパス開催予定

第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
7/24 (土)	8/21 (土)	9/4 (土)	10/10 (日)	11/27 (土)

奥羽大学 歯学部・薬学部

豊かな人間性を育成する大学



学事部

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂 31-1
TEL/024-932-8931 (代) FAX/024-933-7372
E-mail/info@ohu-u.ac.jp

<http://www.ohu-u.ac.jp>